

Xの罪責

傷害罪（Xの行為①）

- (1) 構成要件該当性 3
 - ・ 身体の傷害
 - ・ 故意
- (2) 正当防衛 2
 - ・ 不成立
- (3) 違法性に関する事実の錯誤 12
 - ・ 誤想過剰防衛
 - ・ 責任故意
- (4) 違法性の錯誤 5
 - ・ 違法性の意識の可能性
- (5) 刑の減免 8
 - ・ 刑法36条2項の適用、準用

← 本問では、ここが大きな論点になります (pp. 173-174)。詳しい検討が必要です。

← この点も、詳しく検討します (p. 175)。